

2年2組 特別の教科 道徳

1 主題名 生きて いるって すばらしい 内容項目：D 生命の尊さ

2 教材名・教材について 「生きて いるから」

児童にとって身近な『手のひらを太陽に』の歌を歌い、その歌詞に触れて生きていることの素晴らしさを感じることでできる教材である。生きているとできることについて考えるとともに、歌詞の中に他の小さな生き物も取り上げられており、命あるものとしての同格の重みを感じ取ることができる。人間に限らず命あるものは皆与えられた場所で懸命に生きており、それぞれの生の営みを他から尊重される必要がある。このようなことに気付かせることで、共に生きることを喜び、自他の生命を大切に生きていく心育を育てていきたい。

3 ねらい

生き物には、それぞれに一つずつの命があることを理解し、命があるからこそ、喜んだり、悲しんだり、いろいろなことを感じられることに気づき、自他の生命を大切にしようとする心育を育てる。

4 本時の流れ

	授 業 の 流 れ
導 入	1 自分の心臓の動きについて気付いたことを発表し合う。
展 開 前 段	2 教材「生きて いるから」を読み、歌詞から考えたことを話し合う。 (1)『手のひらを太陽に』を歌う。 (2)気に入った歌詞とその理由を友達と伝え合う。 (3)歌詞を読んでいき、歌詞の中の動物それぞれに命があること、生きているから喜んだり悲しんだりできることに気付く。
展 開 後 段	3 生きているからできること、感じることにについて考える。 (1)生きているからできること、感じることにどのようなものがあるか考え、伝え合う。 友達と遊んで楽しんだり、美味しいものを食べたりできる。  上手いかななくて悲しい気持ちになることもある。 (2)話を聞いて考えたこと、これからしていきたいことについて考え、伝え合う。 楽しいことも、つらいことも、生きているからできるのだと分かった。  自分の命も、他の生き物の命も、大切にしたい。
ま と め	4 命についての教師の説話を聞く。

◆見どころ◆

嬉しいことや楽しいことだけでなく、普段は嫌だと感じてしまうようなことも、生きているからこそ感じられるものだということに気付かせます。自分、他の人や動物、虫等全てのものの命を大切にしようとする心育を育てていきます。